

切除材料の実体顕微鏡像が内視鏡像と組織像の仲介役となり大腸の内視鏡診断が進歩してきたが、胃癌の実体顕微鏡観察は大腸ほど盛んには行われていなかった。その理由の1つとして、上部消化管では表面構造以上に微細な血管構築パターンが重要であるが、これは切除材料では観察できないので、実体顕微鏡像のみでは内視鏡像との仲介役としては不十分であったためだと思われる。しかし、この数年で上部消化管の拡大観察の有用性の報告が相次ぎ、その基礎から応用と現状を把握しておく必要性が生じたため本号が企画された。

上部消化管では拡大内視鏡の応用は多岐にわたっていることが本号で示された。すなわち、良悪性の鑑別診断を含む病変の性状診断・範囲診断に加え、潰瘍治癒過程における再生上皮の評価、Barrett 食道粘膜の性状診断(胃型・腸型の鑑

別)、胃での *Helicobacter pylori* 感染と粘膜変化の関係、十二指腸非腫瘍性病変の鑑別診断など、炎症から腫瘍まで広範囲に及んでいる。さらには、レーザー共焦点顕微鏡を用いた超拡大観察による生体内での細胞の観察も試みられている。このように、生検組織診断なしでも病変の診断がかなりできるようになり、このままでは病理医は失業しかねないと思わせるほどである。今後、さらに症例を蓄積し、表面の観察である拡大内視鏡像と断面の観察である病理組織像との対比による病変の構築の解析を臨床と病理で協力して行うことにより、臨床画像診断と病理診断の両者がさらに進歩していくと思われる。

本号をきっかけに上部消化管の拡大内視鏡の一般普及率が高まり、消化管の画像診断学にまた新たな展開が起ることを期待する。

胃と腸

12月号(第38巻・第13号) 予告

発売予定

12月25日

定価(本体2,400円+税)

主題/消化管への転移性腫瘍

序 説	消化管への転移性腫瘍……………	広島大学附属病院・光学医療診療部	田 中 信 治
	病理から見た消化管転移性腫瘍……………	福岡大学筑紫病院・病理	原岡 誠司・他
主 題	転移性腫瘍の形態的特徴—胃: X線像を中心に……………	社会保険中央総合病院・消化器科	浜田 勉・他
	転移性胃腫瘍の形態的特徴—内視鏡像を中心に……………	国立がんセンター中央病院・内視鏡部	濱中 久尚・他
主 題 症 例	転移性腫瘍の形態的特徴—十二指腸……………	国立がんセンター中央病院・放射線診断部	宮川 国久・他
	転移性小腸腫瘍の画像診断……………	九州がんセンター・放射線科	岩下生久子・他
主 題 症 例	転移性大腸癌の形態的特徴—X線像を中心として……………	松山赤十字病院・消化器科	小林 広幸・他
	胃印環細胞癌の大腸転移の1例……………	大阪鉄道病院・消化器内科	清水 誠治・他
主 題 症 例	粘膜下腫瘍様の転移巣が先に発見された		
	早期胃内分泌細胞癌の1例……………	多摩がん検診センター・消化器科	中井 呈子・他
主 題 症 例	原発性十二指腸癌との鑑別に苦慮した前立腺癌からの		
	転移性十二指腸腫瘍……………	九州大学大学院・臨床放射線科学	上田 真信・他
主 題 症 例	胆管癌のリンパ管侵襲により十二指腸リンパ管		
	拡張症を呈した1例……………	九州大学大学院・病態制御内科学	吉村 理江・他
主 題 症 例	胃癌術後11年目に発症した続発性 linitis plastica 型		
	横行結腸癌の1例……………	東京医科歯科大学・外科	岡部 聡・他
主 題 症 例	腎摘8年後に出現した腎細胞癌胃転移の1例……………	広島大学附属病院・光学医療診療部	原 睦展・他

胃と腸 (第38巻 第12号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho @ igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2003年11月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,400円+税)

2003年年々ぎめ予約講読料 35,010円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2003, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット) http://www.igaku-shoin.co.jp

(担当) 飯村・渡辺・山中・小松原